

## 立命館大学猫の会 RitsCat

### ●ミッション

「人と猫が共存できる社会の実現を目指す」という目標の下、立命館大学衣笠キャンパスに住み着く野良猫の管理、「地域猫活動普及のため」の広報活動を行っています。

### ●代表者

平岡由己

立命館大学3回生



### ●設立

昔から、衣笠キャンパスには野良猫が住み着いており、多くの学生や職員が可愛がったり、餌を与えたりしていました。そつした住み良い環境の中で、野良猫たちは繁殖を繰り返し、その数を増やしていきました。しかし、その結果、糞尿などの衛生問題、発情期の鳴き声などの騒音問題が深刻化し、キャンパス内のみならず周辺地域にも被害を及ぼしていきました。これらの問題を解決するべく、2011年の4月に立命館大学のサークルとしてRitsCatが設立されました。

### ●わたしたちの活動

私たちは、「地域猫活動」という活動の考えに則り、活動の普及に取り組んでいます。「地域猫活動」というのは、殺処分することなく地域における野良猫の問題を解決する手法です。

野良猫を捕獲し、動物病院で不妊・去勢の手術を施します。そして、元の地域に戻し「地域猫」として地域で協力して餌やり、糞処理などの世話をします。猫たちが、「地域猫」となれば、ストレスからの解放や寿命が延びるなどのメリットがあります。「地域猫活動」は、人と猫が共存していくための必要な活動として全国でも広まっています。

RitsCatでは、まず、大学における地域猫活動＝「大学猫活動」の実施をしています。不妊・去勢の手術を施した猫を大学猫として管理し、餌やりや糞処理、その他のあらゆる世話を



毎日行っています。また、「地域猫活動」について多くの人に知ってもらつたために、学外のイベントなどでの活動紹介の展示も行っています。

今後は、ブログやSNSを利用した広報にも力を入れて取り組んでいきます。他にも、活動資金を稼ぐためにフリーマーケットで手作り猫雑貨の販売をしたり、活動に関する理解をより深めていくため、定期的に勉強会を開催したりしています。

現在は、京都の動物愛護や地域猫活動関連の学生団体による連盟「KASP」にも所属しています。KASPでは、京都市の協力を受け、動物愛護や地域猫活動に関わる勉強会の開催やイベントの企画、参加を行っています。来年には、「京都市動物愛護センター」が開設されることもあり、京都市におけるこれらの活動の機運も高まっている状況です。これからも、人と猫が共存できる社会を目指して、RitsCatは一所懸命がんばります。



✕ール [ritscat.meow@gmail.com](mailto:ritscat.meow@gmail.com)

URL <https://www.facebook.com/Ritscat>